

# 視点を変えれば、 世の中は変わる。

たとえば  
半分だけ水の入ったコップを見て、  
もう半分しかない、と思うか、  
まだ半分もある、と思うか。

視点を変えれば、  
世の中の見え方は変わってきます。  
当たり前だと思っていたことでも、  
違う視点から見つめ直してみると、  
新しい発見があることがあります。

Rethinkフォーラムは、  
一人では気づけない  
新しい視点に気づくことで、  
地域活性化のきっかけを見つける場です。

視点を変えれば、世の中が変わる。  
地域が変わる。  
未来を変える発見は、  
意外と身近に  
あるのかもしれない。



「Rethinkフォーラム～視点を変えれば、世の中は変わる～」(新日本海新聞社主催、鳥取県、鳥取市などが後援、Rethink PROJECT協賛)が11月24日、鳥取市のホテルで開かれました。第1部は、お笑い芸人のみやぞんさんが「しあわせ王にみんななる！」と題してトーク。第2部は、鳥取県の平井伸治知事と元プロ野球選手で、現在鳥取で農業に従事する川口和久さんが加わり、約130人の来場者を前に「Rethink鳥取 ～増やせ関係人口、スナバ国民募集～」をテーマにしてパネル討議を行いました。要旨を紹介します。

## ゲスト



みやぞん氏 (お笑い芸人)

演題：しあわせ王にみんななる！

プロフィール：1985年東京都生まれ、2009年11月に幼なじみのあらぼんさんとお笑いコンビ「ANZEN漫才」を結成。日本テレビ系「世界の果てまでイッテQ！」など、人気バラエティ番組に多数出演中。2020年には沖縄県与那国町の観光大使に就任。天真らんまんキャラクターで人気を集めている。

## Rethinkな考えで「成功」へ

### ★ どんないじめ期でしたか？

小学校のころ、当時の担任の先生に「宿題はやりません」とはっきり言いました。夏休みの宿題もやりませんって。なぜかという、「やらなきゃ」というのが嫌なんです。夏休みを楽しんでいる最中に、「やってない」ってなるとつまらなくなるんです。僕の人生の成功談は、もの見方を変えて、「逆」の考えによるもの。「イッテQ！」という番組があるんですけど、そこで成功し、今テレビに出させていただいているのも、全部この考えが結果につながっています。苦手なものがある人っていますよね。そのときは「要らない」というぐらいの考え方で僕はいいと思うんです。

### ★ 「逆」に考えるってすごい捉え方ですね。

周りの人が「それはできない」とか、「もっとこうの方がいいよ」、「おまえのためだから」とか言いますよね。それに対抗して「いや、それは違いますよ」と言ってしまうと争いが起こります。だから僕は「ああ、その考えは素晴らしいですね。でも、僕の考えは少し違うんですけど、これもいいですよ」と答えます。これでもめどはなくなります。こちらの解釈でその逆の事をするうちに、髪型はリーゼントになりました。中学生のとき「これは少し違うんですけど、これもいいですよ」とよく言われました。勉強してなくても、現在誰よりも海外に行っています。まったく困っていません。意外と大丈夫なんです。英語が好きなのは勉強したほうがいんですよ。そういう人は将来使うことになりやすから。

強したほうがいんですよ。そういう人は将来使うことになりやすから。

### ★ 成功するための秘訣(ひけつ)は？

それは間違いなく「運」。運のある人間には絶対に勝てないと思います。努力、根性、才能とかありますが、プロ野球選手は守備でも打者でも全員が「できる集団」なのに、試合で活躍する人ではない人がいます。なぜなのかと思って、監督経験のある方と対談する機会があって聞いてみると、その方は「運」だって言っていました。僕みたいに頑張っている若手芸人や同期の芸人、同じだけ努力してました。でも僕の方がテレビに出ているんです。運なんです。運には勝てないんです。

### ★ その「運」が良くなるコツは？

一つ目はとにかく明るく、笑顔でいるということ。うそでもいいから、「幸せだなあ」と言ってみてください。「神も仏もありやしな」と言っている人がいますが、僕は神様だと思っています。宗教じみて言っているのではなく、「言葉」っていうのが必ずあると思っています。「幸せだ」とか「愛しているよ」とか「今日も出会えて最高」。こういう言葉。いい言葉をいっぱい使ってみてください。1か月に10回でもいいです。気楽な気持ちでやってもらいたいんです。僕もそれをたくさんするようになってから変わりました。二つ目は笑顔です。笑顔が下手な人っていますけど、むしろしているより絶対に笑顔の方がいいんです。本当にそれでうまいくらいです。

★ 明るく笑顔でいると周りも幸せな気持ちになりますね。僕はポケットに3千円しかなかったときからですから、もう何十年も前から明るく、笑顔でいることを続けています。どんどん加速して運気はいい方向に向かっていきました。お金もかからないです。「ちょっと人に親切にしてみよう」。そういう気持ちを持つだけで、一気に運勢って変わります。これもRethinkの考えですよ。

### ★ だから「しあわせ王」なんですね。

「自分ってすごいんだぞ」「人を笑顔にするんだぞ」そのぐらいの気持ちも大事です。「今回で、みやぞんに会わなくていいや」と思われては駄目ですよ。また、みやぞんさんに会いたいな「あの笑顔を見たいな」とか言いたくなる人にならないといけません。「もう会いたくないなっていう人」がいる人もいます。気を遣うなっていう人。そういう人からは離れてください。身内でも離れた方がいいです。それも神様が「やめとけ、今は離れる」という時期です。それを無理して会おうとするから、おかしくなるんです。もっと気楽に生きていって思えます。心配することはないです。「今日もいい日だな」「最高だな」とか何でもいから、会った人に「最高じゃん」とか、言ってみてください。それでうまくいきます。とにかく笑顔でいてください。鳥取最高、大好きです。

## テーマ：Rethink鳥取 ～増やせ関係人口、スナバ国民募集～

パネルディスカッション出演者 みやぞん氏 (お笑い芸人)、平井 伸治氏 (鳥取県知事)、川口 和久氏 (元プロ野球選手)、池内 萌加氏 (日本海ケーブルネットワークアナウンサー)

### ★ 鳥取は食の宝庫

池内 県産グルメの魅力について聞かせてください。  
平井 和牛、スイカなど鳥取はおいしいものが多いです。中でもカニは絶品で、山陰は松葉ガニ。もともと越前ガニとかのイメージがありますが、鳥取県は水揚げ日本一。いっそ果の名前を「蟹取県(かにとりけん)」に改名したんです。するとカニの値段が上がったんですよ。梨も有名で、新品種に「新甘泉(しんかんせん)」って名前を付けたんです。転がすと速いんですよ。300キロで走ります。味は「超特急(特級)」。そして、川口さんが作ってる星空のようにきらきらした「星空舞」というコメもあります。  
川口 僕は常に新しいことに挑戦したくて。昨年、鳥取に帰ってきてコメづくりを始めました。例えば千葉ロッテマリーンズまで解説に行っていたら、東京に住んでいても、車に乗って行くと2時間くらいかかるんですよ。今の家は空港まで5分くらいなので、本当にRethinkってイメージで視座を変えれば、鳥取から飛行機に乗ったら1時間で行けるんですよ。電車に乗っていったら3、40分で千葉に行くんですよ。それを考えたら、鳥取に住んでいる方がうまいものを食べるし、仕事があったら飛行機でボンと飛んで、解説終わってデーゲームなら最終便で帰ってこれるんです。また、子どものころは田舎ってしんどかったんですけど、今は機械に乗っておけば全部できるんですよ。今年は猛暑で、なかなかいいものを作るのが難しかった。でもピクニックというが、週に1回、温かくなった水をどんどん入れ替えてみると、食味値が(100点満点で)88にまでなりました。あと昨年、僕のコメと三朝町の「神倉大豆」というちょっと大きめの甘い大豆、大山の藻塩、この三つを合わせてみそをつくったんです。  
みやぞん すごいですよ、元プロ野球選手でコメをつくるって。今ま

で農業経験ないんですよ。農業のイメージが変わりますね。  
平井 みやぞんさんならできるとも思います。「米ディアン(コメディアン)」です。  
みやぞん コメだけに「コメディー」ということで、リーゼント米とかつくろおうかと思っています。  
★ 関係人口創出でスナバを発信  
池内 鳥取県として関係人口創出で、「スナバ」を発信されていますね。  
平井 鳥取は食べ物おいしいし、人柄もいい。川口さんのように、東京とかの二拠点生活もやれるもんです。給料が多少安くても、こっちの方が得だという計算が成り立つので、何が本当に人生幸せか分からないです。こういうようなことを関係人口とか言いますが、「歓迎人口、ウェルカニの人口」と考え、いま勝負をしているわけです。「週1副社長」と銘打った人材募集は、数年で1万人の応募がありました。企業などとマッチングをして、いろいろなことをしないと、振り向いてくれないです。  
池内 今度は漁業をやりたいんですよ。船を持って、海に出たいと思ってるんです。夏はイカ釣りを、冬はカニを取ってとか。何かいいじゃないですか。山陰沖でもマグロも取れますね。  
みやぞん マグロも有名なんですか？ 鳥取の時代が来ますよ。海だっただけです。  
★ 心豊かな自分らしくいられる場所に  
池内 今後、鳥取県がさらに発展し、心が豊か自分らしくいられる場所になるために必要な取り組みを教えてください。  
平井 鳥取出身の尾崎放哉先生の素晴らしい句に「窓開けた笑ひ顔だ」があります。鳥取のいいところは、人間関係がしっかりして、みんなで笑顔を交わし合うと。みやぞんさんがおっしゃるよう

に、笑顔で「幸せ」と言っていると、みんな「幸せ」って返してくれる。そんな世界になっていくんじゃないかなと思います。  
川口 鳥取はカレーの消費量が多い。僕は18歳まで鳥取にいて、何を楽みにしていたかといったら、(最近)閉店してしまった商業施設の屋上で、よくカレーを食べてました。あと楽しかったのが、土曜夜市。若桜街道が歩行者天国になって、あれが大好きでよく行ってたんです。若桜街道、智頭街道、鹿野街道。この街道がにぎやかになってほしいと思います。  
みやぞん 平井知事と川口さんお二人が、僕はもう大好きになりましたね。陽気ですよ。ところどころ、何を言っているか分からないという、そういうところがいいなと思います。そして、鳥取も大好きになりました。何か協力できないかなと、今ずっと考えていました。鳥取に、知事に、川口さんに貢献したい。  
★ 鳥取県のこれからは見つける  
池内 最後にメッセージをお願いします。  
みやぞん 鳥取のいいところも分り、僕も伝えたいことを伝えることができました。本当に鳥取に住もうかと考えています。いいなと思っています。鳥取大好きになりました。  
川口 鳥取に帰ってきて、本当に生活も楽しいです。これから冬になってくると、雪が降り寒くなってきます。でも僕はいいなと思う。雪かきも好きです。常に前向きに考えていますし、本当に鳥取のために頑張ります。この冬を乗り越えて、春を待ちましょう。  
平井 「母ありて ざるにひとやま はだ青きありのみのむれ われにむけよとすゝめたまふ 二十世紀 ふるさとの秋 ゆたかなり」という文豪・尾崎翠さんの詩があります。そういうふるさとを、私たちは大切にさせていただきたいと思っています。

